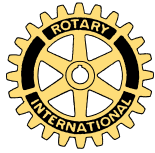


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2014～2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦 芳一
幹事 伊藤 節夫
会報委員長 關 淳之

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2875回例会プログラム

[当年度=26回目；当月=4週目]

2015年（平成27年）2月23日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告

8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/2) ……

卓話 「2015年日本経済アベノミクスの行方」

講師 ニッセイ基礎研究所
チーフエコノミスト
矢嶋^{やすひで} 康次 様
(紹介者 塙 栄一 会員)

(3/9) ……創立記念例会

卓話 「170年の伝統に生きる“創造”と“継承”」

講師 西川流家元
西川^{かづまさ} 千雅 様
(紹介者 杉浦世志朗 会員)

2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

13:00 卓話 「補助金について」

講師 地区補助金委員会
副委員長 中村 公彦 様
(名古屋名東 RC)
(紹介者 鈴木文三郎 会員)

13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

ビ ジ タ ー

寺部^{あきら} 曉 様 (安城 RC)

出 席

会員総数 94名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
欠席 12名 出席率 86.52%
前々回(2/9)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 2月20日刈谷市緑化推進協議会に出席致しました。
2) 2月21日、22日の2日間、半田福祉文化会館、ウェスティンナゴヤキャッスルで開催されました地区大会に参加致しました。



幹 事 報 告

- 1) 本日、例会終了後第9回目の理事会を事務局で行います。関係者のご出席をお願いします。
2) 次年度のロータリー手帳のご注文表を廻しますのでよろしくをお願いします。

会長あいさつ

杉浦 芳一



今日は山陰唯一の現存天守のある松江城のお話です。

松江城は1611年関ヶ原以後、堀尾吉晴親子3代によって現在の城と城下町が築かれ松江市の基礎を作りました。

最初は月山富田城へ入城しましたが、堀尾吉晴が宍道湖畔の将来性に着目し城を移しました。豊臣政権下では三中老の1人として功績を残しました。24万石でした。

次に京極氏が26万4千石で入国しましたが、二代将軍秀忠とお江の四女が京極忠高の妻であり石見銀山の監督権も与えられ歴代松江藩主のなかで最大の領地を治めました。さらに松平氏が入国し明治まで続きました。初代は松平直政で家康の次男の結城秀康の第三子であり、領地は18万6千石です。

松平七代藩主で松平治郷（不味）が茶道の不味流として現在まで継承されていて茶どころ松江の礎を築いた人です。

飾り気のない黒い板張で戦鬪的なお城です。煤と渋柿で作った墨を板に塗ったのでこのような外観になっています。

櫓群は平成になって復元されていますが お城を1周する堀を舟で廻る事ができます。お堀の横には小泉八雲が住んだ武家屋敷が当時のまま残っています。

松江中学校の英語教師をしながら日本式の生活を楽しんでいたようです。

妻の節子夫人から日本の昔話を聞いて怪談…こわいおばけの話の作品が多く、耳なし芳一・雪女・うばざくら・ろくろ首・食人鬼などの小説を書き、本名はラファディオ・ハーン、アイルランド人の父とギリシャ人の母のもとに生まれた明治時代に日本に帰化したヨーロッパ人でした。

クラブフォーラム

「補助金について」

地区補助金委員会

副委員長 中村 公彦 様
(名古屋名東 RC)



私事で恐縮ですが本日のお話を刈谷クラブの吉原孝彦さんにお話を頂きて来て本末ですとお断り？をさせて頂くところですが尊敬をしております吉原先輩の御意向なら無下には出来ず、本日の運びとなりました。

いろいろなクラブへ財団の一員としてお邪魔する機会には光栄ですが歴史ある刈谷クラブさんで貴重な時間を頂戴することをお許しください。

(2)

補助金の中には地区補助金とグローバル補助金があります。本日はその補助金を中心に卓話させていただきます。なお、財団特有の横文字づくめですがご容赦ください。

財団の扱いの中でクラブからの申請事項に大きく分けて2つあります。

①地区補助金はD2760の裁量で振り分けが可能。企画が人道的奉仕プロジェクトであれば可能。2月に申請をして4月に地区最終決定、8月には申請クラブに振り込み。最終報告は翌年2月をめどに企画終了後、最終報告。

総額に対してクラブ負担が原則50%以上であることが地区内のルール。

②GG（グローバル補助金）重点6分野のいずれかに該当。総額30000ドル以上。

随時募集。クラブ（または地区委員会もある）から申請で直接RIとのネット申請（但し、プロジェクトの案件がありましたら、事前にR財団委員会にご相談ください）比較的時間がかかるため慎重に進めることをお勧めします。特に海外との企画のため意思の疎通などがカギとなります。

財団のシステムは難しいとの多くの方に言われますが、皆様の浄財を生かすために「世界で良いことをしよう」を是非実践してみてください。

第9回理事会

I 会長挨拶

〈会長〉

II 議題

1. 3・4月のプログラム（案）について

〈クラブ奉仕委員長〉

〈プログラム委員長〉

2. 職業表彰について

〈職業奉仕委員長〉

3. 刈谷音楽協会第11回刈谷音楽祭後援名義について

〈社会奉仕委員長〉

4. 刈谷市民管弦楽団第31回定期演奏会後援名義について

〈社会奉仕委員長〉

5. その他

III 会場監督の所見